



▲真剣なまなざしでオリジナルの茶わんを作りました

南方で元気っ子クラブを開催 思い出に残る一品づくり

良好な人間関係を築くとともに、自主性や協調性などを養ってもらおうと南方教育事務所などが主催している「南方元気っ子クラブ」が10月13日に開催され、南方地区3小学校の3～6年生が参加しました。7回目となる今回は、6月の陶芸教室で作った茶わんに色付けしました。参加した子どもたちは、慣れない作業に悪戦苦闘していましたが、上手に筆を使い、好きな色で模様を書いたり、友達と作品を見せ合ったりしながら和気あいあいと作業し、思い出の一品に仕上げました。

豊里小・中学校全校遠足 学年を超えた友情を育む

今年で7回目となる豊里小・中学校の全校遠足が10月5日に行われ、児童・生徒541人が参加しました。当日は絶好の遠足日和。子どもたちは、1年生から9年生（中学3年生）までが縦割りで4班に分かれ、それぞれ目的地として選択した、平筒沼、桃生総合グラウンドまでの約4kmから5kmの道のりを歩きました。移動中は、中学生が歩き疲れた低学年の児童に声を掛けたり手を繋いで歩いたりするなど、ほほ笑ましい光景を見ることができました。学年の枠を超えて児童・生徒の親睦が深まった遠足でした。



▲お兄ちゃんお姉ちゃんと一緒に目的地を目指します

津山でありがとうフェスティバル 南三陸から感謝を込めて

NPOみらい南三陸による「ありがとうフェスティバル」が9月22日、震災時に避難生活を送った津山若者総合体育館で開催されました。このイベントは復興に向けた一つの区切りとして、お世話になった登米市にお礼を伝えたいとの主催者の思いに賛同したミュージシャンらの協力により実現したものです。登米市サポートチームや学生ボランティアなども参加し、今も途切れることのない「絆」が感じられました。南三陸町の人たちの「ありがとう」の気持ちが込められたイベントになりました。



▲南三陸町にゆかりのあるミュージシャンによる演奏が行われました



▲交通安全を願う地区内の道路1.5kmを行進しました

米岡小児童が交通安全街頭パレード 街頭パレードで安全祈願

秋の交通安全運動の一環として、子どもと高齢者の交通事故防止や飲酒運転の根絶などの交通安全を願う街頭パレードが9月26日、米山町西野地区で実施されました。パレードでは、米岡小学校の金管バンド、交通安全少年団の児童が中心となり、演奏に合わせて地区を行進。沿道に集まった多くの人から声援を受けながら、地域住民へ交通安全を呼び掛けていました。米山体育館で行われたセレモニーでは、交通安全少年団の代表児童から交通安全に向けての誓いの言葉が述べられました。

迫庁舎でふれあいコンサート 美しい歌声で観客を魅了

市役所の昼休み時間を利用した「ふれあいコンサート」が10月2日、迫庁舎1階ホールで開催されました。コンサートは、市民などの芸能発表の場に生かしてもらおうと、昼休みに市役所のホールを無料開放している取り組みです。今回は、「はさま童謡を歌う会」の皆さんが「二つの雨のうた」や「証城寺の狸囃」など8曲の合唱を披露しました。会場には、コンサートを聞くために訪れた人や窓口に手続きに来た人、職員など約70人が足を止め、きれいな歌声に聞き入っていました。



▲美しい歌声がホールに響き渡りました

石越で交通安全事故ナス作戦 地域から「事故ナス！」

石越地区交通安全推進会議の主催による街頭キャンペーン「交通安全事故ナス作戦」が石越地区（東郷口梨）の県道で行われ、石越地区の交通安全3団体から約30人が参加しました。キャンペーンでは「飲酒運転の根絶」や「全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底」など5項目が重点目標。「事故無し」を「事故ナス（茄子）」ともじって石越特産のくろべえ茄子や交通安全啓発品を配布しながら、通行するドライバーに安全運転を呼びかけました。



▲ドライバーに「事故ナス（なし）」を呼びかけました